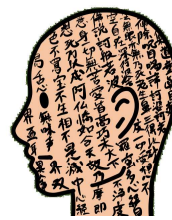




“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和8年2月④
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp



◆「得度式」をおこないました

「お坊さんになりたいのです」ということを発心^{ほっしん}と
いいです。仏道への志を発した人という意味です。
出家という言葉も近い概念です。年齢も性別も関
係なく、だれでも僧侶になることができますが、まず
本人がその気持ちをもつことが第一です。

発心した人が、最初に通過しなければならない
式が「得度式」です。

このたび一般男性の方の得度式をおこないまし
た。

式は大きく2つに分かれます。前段ではまず剃髪
します。



後段では、仏弟子として生きていくのに必要な
「戒」を授かります。「戒」とは、自分の心を制御する
教えのことです。

最後に、得度という素晴らしい儀式によって得た
功德を、迷いの世界にあるあらゆる生類に回らすと
お唱えします。

得度式を終えると、僧籍に登録されます。もちろ
ん得度式を終えたのち、修行に向かわなければな
りません。

永平寺、総持寺の両大本山で修行をする場合も
ありますし、北海道から九州まで十数カ所ある専門
僧堂で修行する人もあります。昨秋、仏教婦人会で

お参りした岡山県にある洞松寺もその一つです。
修行期間は、学歴などによって違いますが、概ね1
年程度からと思ってよいです。ただし、近年制度が
改変され、出家者の事情に合わせて数回に分けて
安居することも可能になっています。

ということとで…。

「私もお坊さんになりたい」という方がありまし
たら、どうぞご相談ください。

◆般若心経とは

小泉八雲が紹介した怪談「耳なし芳一」のお話
で、芳一の耳以外の体中に書かれた経文は般若
心経でした。このような解説文がありました。

般若心経とは
昏き道を明るく照らす高々とかがりび
しみの多い世の中を速やかに航行する舟であり
物の救い手であり
迷いを導くのに、これ以上のものはない
(原文)法蔵菩薩の般若心経畧疏に曰く
「昏衛を曜すの高炬苦海を済うの迅航にし
て物を拯い迷を導く斯より最たるはなし」

私たちが最もよく読んだり写経したり、また多くの
人に最も知られたお経です。邪気を払う力もある経
文です。一つ一つの言葉を理解するよりも、繰り返
し繰り返し親しむことが大切です。